年度	学年	教科	授業数／週
令和８年度	２学年	数学	１０５時間／３時間
教科書			
東京書籍「新しい数学」			
補助教材			
正進社「数学の学習ノート」②			

年間指導目標
■文字式について、目的に応じて計算したり変形したりできるようにするとともに、連立２元１次方程式について理解し、それを用いることができるようにする。 ■基本的な平面図形の性質について、観察・操作・実験を通して理解を深めるとともに、数学的な証明の意味と方法とを理解し、証明の過程を的確に表現できるようにする。 ■具体的な事象を調べることを通じて、１次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし考察することができるようにする。また具体的な事象についての観察や実験を通して、確率の考え方の基礎を身につける。 ■複数のデータの分布の傾向を比較するものに、四分位数や箱ひげ図があることを理解する。

観点	評価材料	評価基準
知識 技能	・定期テスト（知識・技能） ・単元テスト	各評価材料の合計が、おおむね８０％以上はA評価、４０％以上８０％未満はB評価、４０％未満はC評価とします。
思考 判断 表現	・定期テスト （思考・判断・表現） ・単元テスト	各評価材料の合計が、おおむね８０％以上はA評価、３０％以上８０％未満はB評価、３０％未満はC評価とします。
主体的に 学習に 取り組む 態度	・パスカル ・テスト ・ワーク ・授業　等	各評価材料の合計が、おおむね８０％以上はA評価、４０％以上８０％未満はB評価、４０％未満はC評価とします。

授業の評価について	
注意事項	基礎が固まったら色々な問題にあたってみることも大切です。初めは解けなくても解説をよく読んで、いろいろな考え方があることを知るのも勉強です。より良い解き方はないかを考え、柔らかい発想ができるようにしましょう。
アドバイス	授業では、課題に対して先ず自分なりの考えを持つ（持てる）ことが最優先です。そのため先生や友達の話しを参考にし、わからなければ質問しましょう。分かった・理解したと思ったら、定着するまで問題集等を利用してくり返し練習しましょう。『継続は力なり』スパイラル学習で、書く力も身につけましょう。家庭学習の習慣をつけるためには、パスカルを

	しっかりと取り組みましょう。

年間指導計画			
学期	月	単元	テスト・評価
1学期	4		
	5		
	6		期末テスト(知・思・主)
	7		
夏休み	8		
2学期	9		中間テスト(知・思・主)
	10		
	11		期末テスト(知・思・主)
	12		
3学期	1		
	2		学年末テスト(知・思・主)

	3		